

## 現代社会研究コース

### 【出題の意図】

本コースは、現代社会学、社会心理学、及び民俗学・文化人類学のいずれか／複数の研究領域に立脚し、社会学の目的や性格と現代社会や地域社会の特質を理解したうえで、独自の研究課題を発見し、データの的確な収集・分析に基づいて、研究成果として表現できることを目標としている。またそこから、修得した高度な知識・分析力、判断力及び研究成果により、高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人物を育成することとしている。

そこで、今回の作題においては、本コースを構成する各分野の基礎的な知識を問いつつ、それらの知識を用いて論述できる能力を測定するための問題を複数問設定し、内 2 問を受験生が選択できる形式とした。これにより、受験生各自の基礎的な知識の修得状況と、現代の社会的・文化的課題や事象を分析する能力、またそれを文章として表現できる技能を測定することができる考えた。

評価に際しては、(1)各分野における基礎的な知識が十分に修得できているか、(2)現代における社会的・文化的課題や事象を分析する能力を有しているか、(3)両者を結びつけて十分に論じられているかの 3 点を重視し、採点を行うこととする。

今回出題した 4 問においても同様で、(1)問われたことに関する基礎的な知識の修得状況を、(2)具体的事象との関連を問われている問いにおいては取り上げた事象に対する分析力を、(3)それらを文章として表現する上での表現力と論理性を重視し採点を行う。

### 【解答例】

小論文的出題であるため、出題の意図に鑑み解答の例は示しません。